

沖縄コンベンションセンター劇場棟西面外壁等改修工事（R6）

意匠図							
図面番号	図面名称	縮尺		図面番号	図面名称	縮尺	
		A1	A3			A1	A3
A-00	改修工事 表紙・図面目録	—	—	A-11	西側、北側立面図・庇先端詳細図	1/10、1/200	1/20、1/400
A-01	建築改修工事特記仕様書（その1）	—	—	A-12	屋根部分詳細図・部分断面図	1/5、1/100	1/10、1/200
A-02	建築改修工事特記仕様書（その2）	—	—	A-13	建具配置図・建具表	1/50、1/400	1/100、1/800
A-03	建築改修工事特記仕様書（その3）	—	—	A-14	外部天井伏図	1/200	1/400
A-04	建築改修工事特記仕様書（その4）	—	—	A-15	補修・改修工法詳細図	1/10、1/200	1/20、1/400
A-05	案内図・配置図	1/500	1/1000				
A-06	外部仕上表	—	—				
A-07	1階平面図	1/200	1/400				
A-08	2階平面図	1/200	1/400				
A-09	3～5階平面図	1/200	1/400				
A-10	R階平面図	1/200	1/400				

令和 6 年度
沖縄県文化観光スポーツ部 M I C E 推進課

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場棟西面外壁等改修工事（R6）					工事年度	令和 6 年度	
工事場所	宜野湾市					図面名称	改修工事 表紙・図面目録	
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部 M I C E 推進課					縮尺	(A1) NO SCALE (A3) NO SCALE	
摘要						図面番号	A - 00	
審査	課長	技術調整監	班長	主幹	担当者	設計者	(有) かなえ設計	
						資格者氏名	喜瀬 良彦	
						登録番号	一級建築士 第 332055 号 事務所登録 第 111-648 号	
						所在地	沖縄県那覇市宇仲井真400番地1 (302)	

建築改修工事特記仕様書〔建築工事編〕																													
令和5年7月改定版																													
1 工事概要																													
(1) 工 事 名：沖縄コンベンションセンター劇場棟西面外壁等改修工事(R6)																													
(2) 工 事 場 所：宜野湾市(地域地区等：)																													
(3) 敷 地 面 積：55,530㎡																													
(4) 工 事 種 目：ア 建築物																													
<table><tr><td>建築物の名称</td><td>劇場棟</td><td></td><td></td></tr><tr><td>主要用途</td><td>公会堂又は集会場</td><td></td><td></td></tr><tr><td>構造及び階数</td><td>RC造・地下1階・地上5階建</td><td></td><td></td></tr><tr><td>工事種別</td><td>改修</td><td></td><td></td></tr><tr><td>建築面積</td><td>5,945.0㎡</td><td>㎡</td><td>㎡</td></tr><tr><td>延べ面積</td><td>9,219.0㎡</td><td>㎡</td><td>㎡</td></tr></table>				建築物の名称	劇場棟			主要用途	公会堂又は集会場			構造及び階数	RC造・地下1階・地上5階建			工事種別	改修			建築面積	5,945.0㎡	㎡	㎡	延べ面積	9,219.0㎡	㎡	㎡		
建築物の名称	劇場棟																												
主要用途	公会堂又は集会場																												
構造及び階数	RC造・地下1階・地上5階建																												
工事種別	改修																												
建築面積	5,945.0㎡	㎡	㎡																										
延べ面積	9,219.0㎡	㎡	㎡																										
イ 工作物及び立木																													
<table><tr><td>工作物等の名称</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>数量</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				工作物等の名称				数量																					
工作物等の名称																													
数量																													
2 本工事の設計時期																													
本工事の設計書は、令和 6年 4月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。																													
3 建築工事仕様																													
(1) 標準仕様																													
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)〔令和4年版〕(以下「標準仕様書」という。)」による。																													
(2) 特記仕様																													
ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。																													
イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。																													
「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。																													
「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。																													
ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。																													
エ 特記事項に記載の(参- . .)は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)〔平成31年版〕巻末の各部配筋参考図の当該項目を示す。																													
4 その他																													
(1) 公共事業労務費調査に対する協力																													
ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。																													
イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。																													
ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。																													
エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。																													
(2) 暴力団員等による不当介入の排除対策																													
受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。																													
ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。																													
イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。																													
ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。																													
(3) ワンダーレスボンスの実施																													
ア この工事はワンダーレスボンス実施対象工事である。																													
「ワンダーレスボンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。																													
イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。																													
ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。																													
エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。																													
(4) 工事監理業務への協力等																													
ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。))は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。																													
(4) 工事監理業務への協力等		イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。																											
ウ		設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。																											
エ		建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。																											
(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて		本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。																											
(6) 県産資材の優先使用		本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。																											
(7) 下請業者の県内企業優先活用		請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。																											
(8) 不発弾等発見時の処理について		本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。																											
また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。		なお、これについては、下請業者へも周知すること。																											
(9) ダンプトラック等の過積載等の防止について		ア 工用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。																											
イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。		ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入者に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。																											
エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。		オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。																											
カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。		キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。																											
(10) 不正軽油の使用の禁止等について		ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。																											
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。		(11) 設計図書における資材等の取扱いについて																											
ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。		イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとおり品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。																											
ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。		(12) ガイドライン等の遵守について																											
設計変更等については、契約書18条から24条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。		(13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について																											
ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。		また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業体団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。																											
イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。		【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf																											
【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf		【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】 ホーム>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書 https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html																											
章	項 目	特 記 事 項																											
1 一般共通事項	1 適用基準等	建築改修工事監理指針(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和4年版)(一社)公共建築協会 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部		1 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.11)																									
	2 工事実績情報の登録(1.1.4)	登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。		12 交通安全管理(1.3.9)																									
	3 工事の一時中止に関する事項(1.1.9)	工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。		(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)による建設機械を使用する。 (2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5〜260kW) ア バックホウ イ 車輪式トラクタシヨベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの) キ ローラ類 ク ホイールクレーン																									
	4 工事の余裕期間	余裕期間を設定する工事 【 方式】 【以下から選択・発注者指定方式／任意着手方式／フレックス方式】 (1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。 なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。 (2) 余裕期間制度のうち、任意着手方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式-1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。 (3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。		国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。 (令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号)																									
	5 概成工期(1.2.1)	図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。																											
	6 品質計画等(1.2.2)	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1) 風速:V0= m/s (平12建告第1454号第2) (2) 地表面粗度区分: (3.5.4)(3.9.3)(5.13.5)(9.3.4)																											
	7 施工図等(1.2.3)	(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 (2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。 (3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。																											
	8 工事の記録(1.2.4)	沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。																											
	9 電気保安技術者(1.3.3)	電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。																											
	10 施工条件(1.3.5)	施工順序等の制約 ・無し ・有り【・現場説明書による・図示・】 工事車両の駐車場所：・図示・現場説明書による・ 資材、機材置場：・図示・現場説明書による・ 建設発生土の仮置場：・図示・現場説明書による・ その他の施工条件：・図示・現場説明書による・																											
工事名称		沖縄コンベンションセンター劇場棟西面外壁等改修工事(R6)		工事年度																									
工事場所		宜野湾市		図面名称																									
発注機関		沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課		縮 尺																									
摘 要				図面番号																									
管理建築士		設 計		製 図																									
検 印				設計者																									
				資格者氏名																									
				登録番号																									
				所在地																									

④外壁改修工事

①外壁改修工法の種類等
(4.1.4)

1)コンクリート打放し仕上げ外壁
(4.2.2)～(4.2.8)

改修の内容

改修工法の種類

使用する材料

特記事項

ひび割れ部改修

樹脂注入工法

エポキシ樹脂

欠損部改修

充填工法

ポリマーセメント

恒久

欠損部改修

充填工法

エポキシ樹脂樹脂モルタル

・自動低圧式エポキシ樹脂注入工法におけるエポキシ樹脂の注入量:注入口1箇所当たり【
】mm³

・手動式エポキシ樹脂注入工法における注入口間隔:【
】mm

・機械式エポキシ樹脂注入工法における注入口間隔:【
】mm

2)モルタル塗り仕上げ外壁
(4.3.2)～(4.3.16)

改修の内容

改修工法の種類

使用する材料

特記事項

ひび割れ部改修

欠損部改修

亜硝酸リチウム含有ポリマーセメント

※復元レベル 恒久

浮き部改修

3)タイル張り仕上げ外壁

改修の内容

改修工法の種類

使用する材料

特記事項

ひび割れ部改修

欠損部改修

浮き部改修

目地改修工法

4)タイルの種類

・タイルの試験張り:【・行う・行わない】

・タイルの見本焼き:【・行う・行わない】

・外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着性試験:【
】

5)タイル張り工法

タイルの種類

大きさ

工法

張付け材料の種類、塗厚等

6)塗り仕上げ外壁

仕上塗材の種類

種類(呼び名)

仕上げの形状

工法

下地処理の方法等

フッ素樹脂(溶剤)

フッ素樹脂

カラークリヤー

ローラー・エアレス

高圧水洗工法
リムバー(化学剥離剤)

(4.5.2)～(4.5.6)

改修後の新規仕上の種類: 溶剤系 フッ素樹脂塗料

既設資材の処理及び処分方法:

②外壁改修塗り仕上の種類
(4.1.5)

3その他

5建具改修工事

1改修工法
(5.1.3)

【・かぶせ工法・撤去工法】
・新規に建具を設置する場合における開口の開け方及び補修方法:【
】

2防火戸等
(5.1.4)(5.1.7)

1)防火戸の指定及び機構等は、図示による。

2)防犯建物部品の適用は、図示による。

3見本の製作等
(5.1.5)

1)建具見本の製作:【・行う・行わない】

2)特殊な建具の仮組:【・実施する・実施しない】

4アルミニウム製建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(5.2.5)
(表5.2.2)

1)建具の性能等

種別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み寸法

施工箇所

2)特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類

施工箇所

等級

備考

・防音ドアセット

・断熱ドアセット

・耐震ドアセット

3)外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類

種別: B-1
複合皮膜の種類:【・A1・A2】(JIS H 8602)

4)結露水の処理方法:

5)水切り及びびげん板等の加工及び組立は、図示による。

5樹脂製建具
(5.3.2)
(表5.3.1)
(表5.3.2)
(表5.3.3)
(5.3.4)
(5.3.5)

1)外部に面する樹脂製建具の性能等級等

種別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み寸法

施工箇所

2)特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類

施工箇所

等級

備考

・防音ドアセット

・断熱ドアセット

・耐震ドアセット

3)表面色:

4)水切り及びびげん板等の加工及び組立は、図示による。

6鋼製建具
(5.4.2)
(表5.2.1)
(表5.4.1)

1)建具の性能等

施工箇所

気密性

水密性

耐風圧性

備考(材料等)

2)特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類

施工箇所

等級

備考

・簡易気密型ドアセット

3)鋼板の種類:【・JIS G 3302・JIS G 3317】

7鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.3)

1)建具の性能等

種別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み寸法

施工箇所

2)特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類

施工箇所

等級

備考

・簡易気密型ドアセット

3)ビニル被覆鋼板:【・使用する・使用しない】

4)カラー鋼板の適用:【・使用する・使用しない】

8ステンレス製建具(5.6.2)
(表5.2.1)
(表5.4.1)

1)建具の性能等

施工箇所

気密性

水密性

耐風圧性

備考(材料等)

2)表面仕上げ:【※HL・パイブレーション・鏡面・
】

9木製建具
(5.7.2)

1)かまち戸

かまちの樹種:、鏡板の樹種:

2)ふすま

上張りの種類:、縁の仕上げ:

10建具用金物
(5.8.2)
(5.8.3)
(表5.8.1)

1)建具用金物の材質、形状及び寸法

形式

金物の種類

見え掛け部の材質

備考

2)建具用金物の取付け位置等は、図示による。

11鍵
(5.8.4)

1)マスターキー:【・製作する・製作しない】

2)関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。

12自動ドア開閉装置
(5.9.2)(表5.9.4)

1)戸の開閉方法:【・引戸・開き戸・折戸】

2)センサーの種類:

13シャッター
(5.11.2)(5.12.2)
(5.12.4)

1)シャッターの種類:【・重量・軽量】

2)耐風圧強度:

3)重量シャッターの場合のシャッターケース:【・設ける・設けない】

4)スラットの形状:【・インターロッキング形・オーバーラッピング型】

14オーバーヘッドドア
(5.13.2)

1)耐風圧性能の区分:

2)開閉機能:【※バラン式・チェーン式・電動式】

3)収納形式による区分:

15ガラス
(5.14.2)(5.14.4)
(5.14.5)

1)ガラスの種類及び厚さ等

ガラスの種類

厚さ等

備考

2)ガラス留め材

建具の種類

材種

3)熱線反射ガラスの映像調整:

4)ガラスブロックの材料及び工法

表面形状

呼び寸法

厚さ

壁用金属枠

補強材

色

金属製化粧カバー

5)ガラスブロック積みを用いる化粧目地モルタルの色:

既設資材の処理及び処分方法:

16その他

1)既存床の撤去等
(6.2.1)

2)木下地等
(6.5.1)(6.5.2)
(表6.5.1)

6内装改修工事

1)既存床の撤去等
(6.2.1)

既存床仕上材

工法

備考

2)木下地等
(6.5.1)(6.5.2)
(表6.5.1)

1)木材(下地材)の含水率:※A種・B種

木材(造作材)の含水率:※A種・B種

2)製材

【・「製材の日本農林規格」による
・「製材の日本農林規格」以外による】

【・下地用針葉樹製材・造作用針葉樹製材
・広葉樹製材・
】

施工箇所

樹種

寸法

等級又は品質

含水率

防虫処理・難燃処理

(表6.5.2)

3)造作用集成材

【・「集成材の日本農林規格」による
・「集成材の日本農林規格」以外による】

【・造作用集成材・化粧ばり造作用集成材・化粧ばり構造用集成材・
】

施工箇所

樹種

寸法

等級又は品質

含水率

化粧薄板の厚さ

4)造作用単板積層材

【・「単板積層材の日本農林規格」による
・「単板積層材の日本農林規格」以外による】

施工箇所

厚さ

表面の品質

含水率

防虫処理

5)床張り用合板等【・普通合板・構造用合板】

施工箇所

樹種

厚さ品質、等級等

接着の程度

防虫・強度等

6)パーティクルボード

施工箇所

厚さ

表裏面の状態

曲げ強さ

接着剤

難燃性

7)構造用パネル

施工箇所

厚さ

等級

3)土壌の防蟻処理

1)施工箇所:「防除施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行)Ⅰ新築建築物しろあり予防処理標準仕様書4処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。

2)処理薬剤:(公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。

3)処理方法:「防除施工標準仕様書」Ⅰ新築建築物しろあり予防処理標準仕様書3処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。

4)防腐・防蟻・防虫処理(6.5.5)

木材処理(防蟻・防虫)

1)施工箇所:合板、集成材等を除く全ての木材

2)処理方法:工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。

3)性能区分:性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。
ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。
イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。

5)防蟻処理、防虫処理の施工及び保証

1)公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

2)元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後3年とする。

6)軽量鉄骨天井下地
(6.6.3)(6.6.4)

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

野縁の間隔

備考

2)既存の埋込みインサート:【・使用する・使用しない】

3)あと施工アンカーの引抜き試験:【・行う(荷重N程度)・行わない】

4)各補強の方法は、図示による。

7)ビニル床シート等
(6.8.2)(6.8.3)

1)ビニル床シートの材料及び工法

施工箇所

種類の記号

色柄

厚さ

熱溶接工法の適用

・有り・無し

・有り・無し

2)ビニル床タイル、ゴム床タイル

施工箇所

種類(・形状)

厚さ等

3)特殊機能床材の適用:

【・常電防止床シート又は床タイル・視覚障害者用床タイル・耐動荷重性床シート・防滑性床シート又は床タイル】

施工箇所

種類(・形状)

厚さ等

8)カーベツト敷き
(6.9.3)
(表6.9.1)
(表6.9.2)

施工箇所

カーベツトの種類・種別

厚さ

パイル形状等

工法

・グリッパ―・全面接着

・グリッパ―・全面接着

(1)帯電性の適用【・有り・無し】

(2)見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。

エポキシ樹脂系塗床の仕上の種類:

施工箇所

工法

品名

備考(樹種、種別等)

9)合成樹脂塗床
(6.10.3)

10)フローリング張り

11)フローリングボードの特殊張り

12)畳敷き
(6.12.2)

13)せっこうボード、その他ボード及び合板張り
(6.13.2)(6.13.3)
(表6.13.5)

(1)畳の種類【・A種・B種・C種・D種(種別:)】

(2)畳表に使用する材料は沖縄県産とする。

(1)せっこうボード

規格名称

種類の記号

厚さ

施工箇所

目地工法の種類

(2)合板の種類

合板の名称

施工箇所

その他の仕様

※合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第6章第3項及び第4項を適用する。

(3)軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材:【・
】

品質及び防火性能:【
】

(1)既製目地材の適用及び形状:

(2)床の目地の設置及び工法:

(1)伸縮目地材の位置は、図示による。

(2)タイルの種類

施工箇所

形状・寸法

うわぐすり

吸水率

役物

色

備考

(3)タイルの試験張り:【・行う・行わない】

(4)タイルの見本焼き:【・行う・行わない】

(5)壁タイル張りの工法等

タイルの種類

大きさ

工法

張付け材料の種類、塗厚等

(1)セルフレベリング材の塗厚:

既設資材の処理及び処分方法:

18)その他

既設資材の処理及び処分方法:

⑦塗装改修工事

①塗装の種類及び種別
(7.1.4)(7.2.2)～(7.13.2)

塗装面

下地調整工程の種類

塗料の名称・種類

塗装工程の種類

施工箇所

コンクリート面

RA種

フッソカラークリア

B種

外壁

コンクリート面

RB種

NADフッソ

B種

外壁

②保証

(1)元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。

(2)保証期間は、工事完成後【3】年間とする。

既設資材の処理及び処分方法:
報告書として試験箇所を明確に図示する。
※軒裏を施工する際、水下及びドレン周りの含水率を確認し、
報告書として試験箇所を明確に図示する。

③その他

工事名称

沖縄コンベンションセンター劇場後西外壁等改修工事(R6)

工事年度

令和6年度

工事場所

宜野湾市

図面名称

建築改修工事特記仕様書(その3)

発注機関

沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課

縮尺

－

摘要

図面番号

A-03

管理建築士

設計

製図

図面名称

(有)かなえ設計

資格者氏名

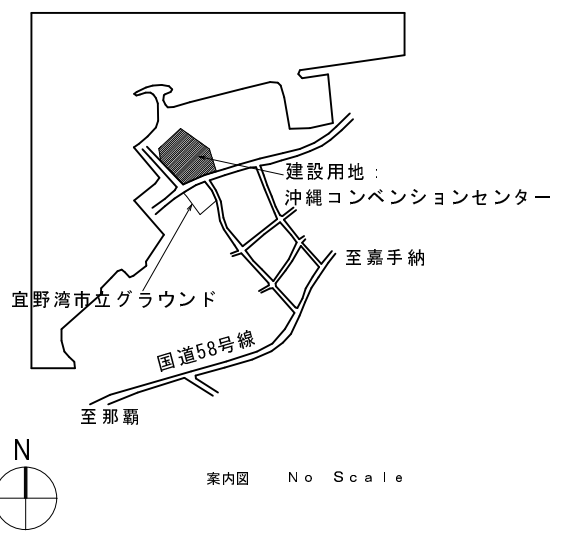
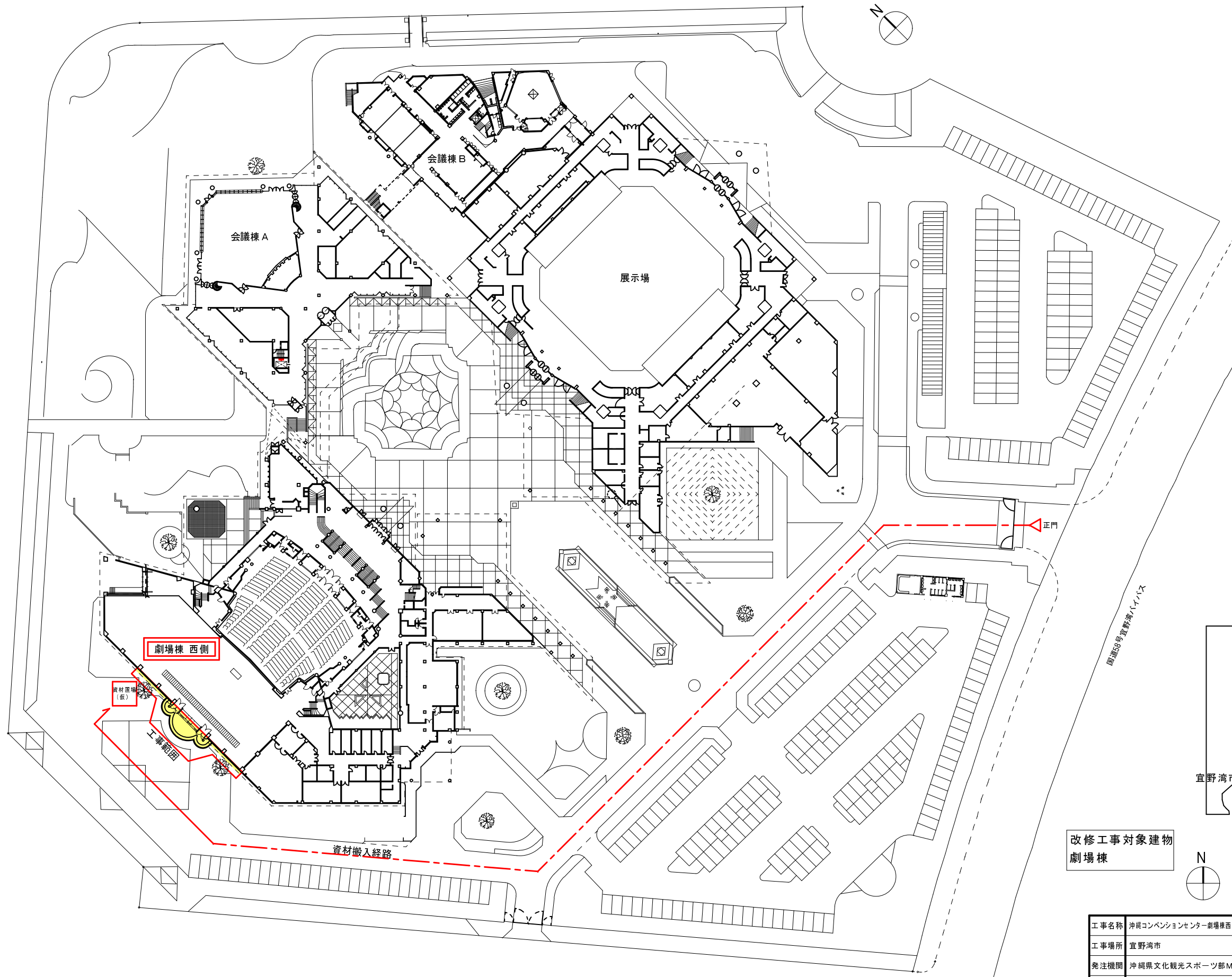
一級建築士第332055号 喜瀬 良彦

登録番号

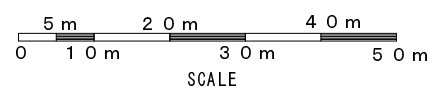
知事登録第11Y-648号

所在地

沖縄県那覇市字仲井真400番地1(302)



改修工事対象建物
劇場棟



沖縄コンベンションセンター 全体配置図 S = 1/500

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場棟西面外壁等改修工事 (R6)			工事年度	令和 6 年度	
工事場所	宜野湾市			図面名称	案内図・配置図	
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課			縮尺	(A1) S=1/500 (A3) S=1/1000	
摘要				図面番号	A-05	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者氏名	(有)かなえ設計	
				資格者氏名	喜瀬 良彦	
				登録番号	一級建築士 第332055号 事務所登録 第111-648号	
				所在地	沖縄県那覇市字仲井真400番地1 (302)	

外 部 仕 上 表

外壁・軒裏・梁 外壁（アクセントカラー部）	補修前	コンクリート打放し
	補修後	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁）溶剤系フッ素樹脂塗装（カラークリヤー）
	補修後	高圧洗浄後、 NADフッ素樹脂塗装
庇先端・笠木	補修前	変性シリコン系シーリング（MS-2）
	補修後	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10
鋼製建具廻り	補修前	変性シリコン系シーリング（MS-2）
	補修後	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10
外壁打継目地	補修前	ポリウレタン系シーリング(PU-2)
	補修後	ポリウレタン系シーリング(PU-2) 10×10

※令和 5年のアスベスト検査の結果、外壁（Pコン含む）、シーリング材にアスベスト（クリソタイル）の含有は確認されていません。
※高圧洗浄機の圧力は、15M p a 程度とする。
※建具廻り、笠木の目地シーリングは、再充填工法とする。MS-2, 変性シリコン系シーリング材充填。

●凡例

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、ディスクサンダー工法、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カラークリヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、ディスクサンダー工法、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カラークリヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、 NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（アクセントカラー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング(PU-2) 10×10	外壁打継目地

コンクリート打放し（外壁・軒裏・梁）の改修手順

① 既存塗膜除去（リムーバー） 1回



② ディスクサンダー工法
（必要とされる範囲を、施工数量調査により決定）



③ 既存下地処理 高圧水洗工法（15Mpa以上）

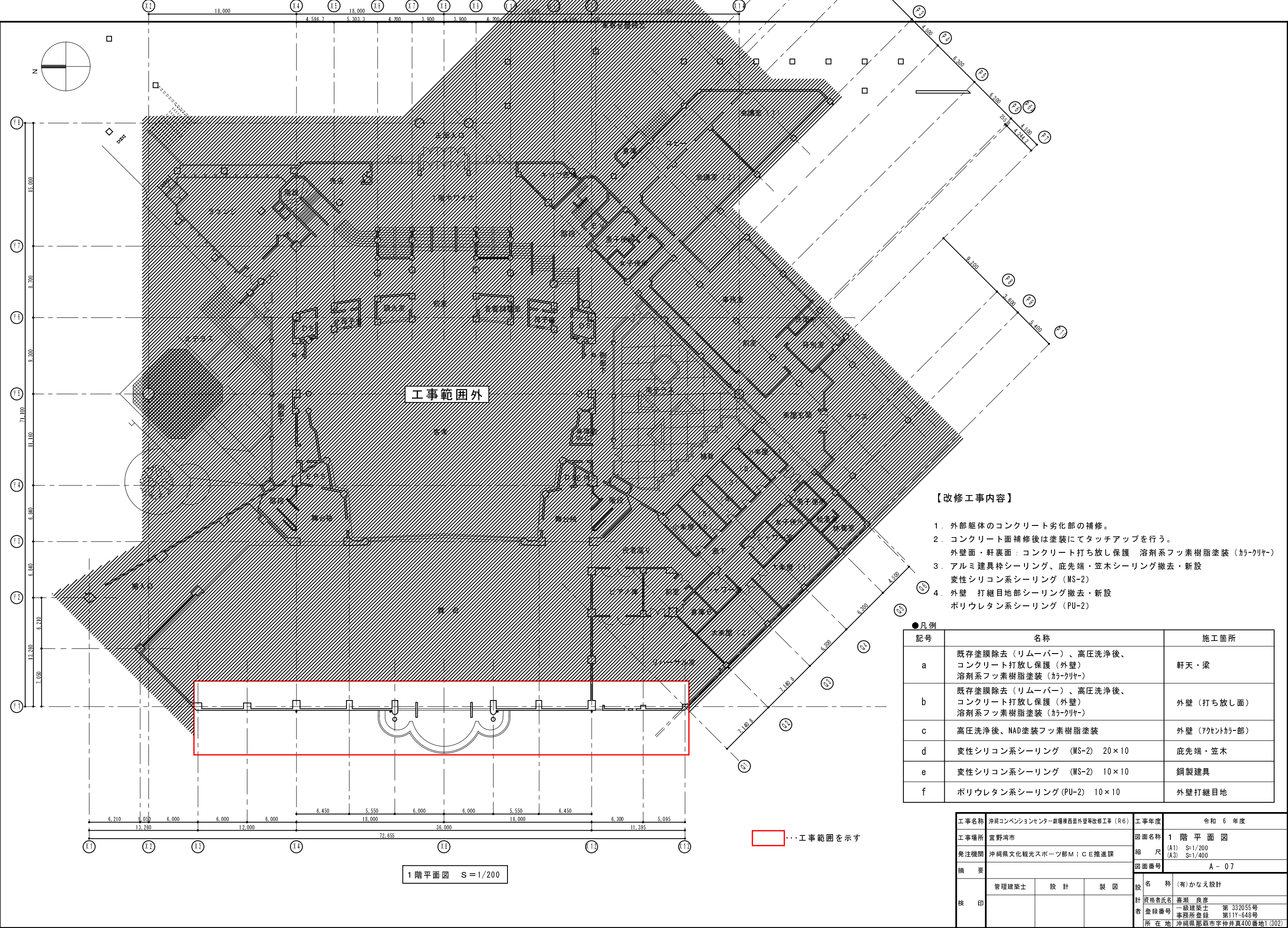


④ コンクリート打放し保護（外壁）
溶剤系フッ素樹脂塗装（カラークリヤー）

・コンクリート打ち放し部分は既存塗膜が2層ある。
当初設計において、上記の流れで計画しているが、
現場で比較検討を行った上で、工法を決定する。

※比較検討方法
コンクリート素地を露出させた状態で、
溶剤系フッ素樹脂塗装の試験塗りを行い、
付着性（クロスカット法）を確認すること。

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場棟西面外壁等改修工事（R6）			工事年度	令和 6 年度	
工事場所	宜野湾市			図面名称	外部仕上表	
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課			縮 尺	(A1) NO SCALE (A3) NO SCALE	
摘 要				図面番号	A - 06	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	(有)かなえ設計	
				計 資格者氏名	喜瀬 良彦	
				者 登録番号	一級建築士 第332055号 事務所登録 第11Y-648号	
				所 在 地	沖縄県那覇市宇仲井真400番地1(302)	



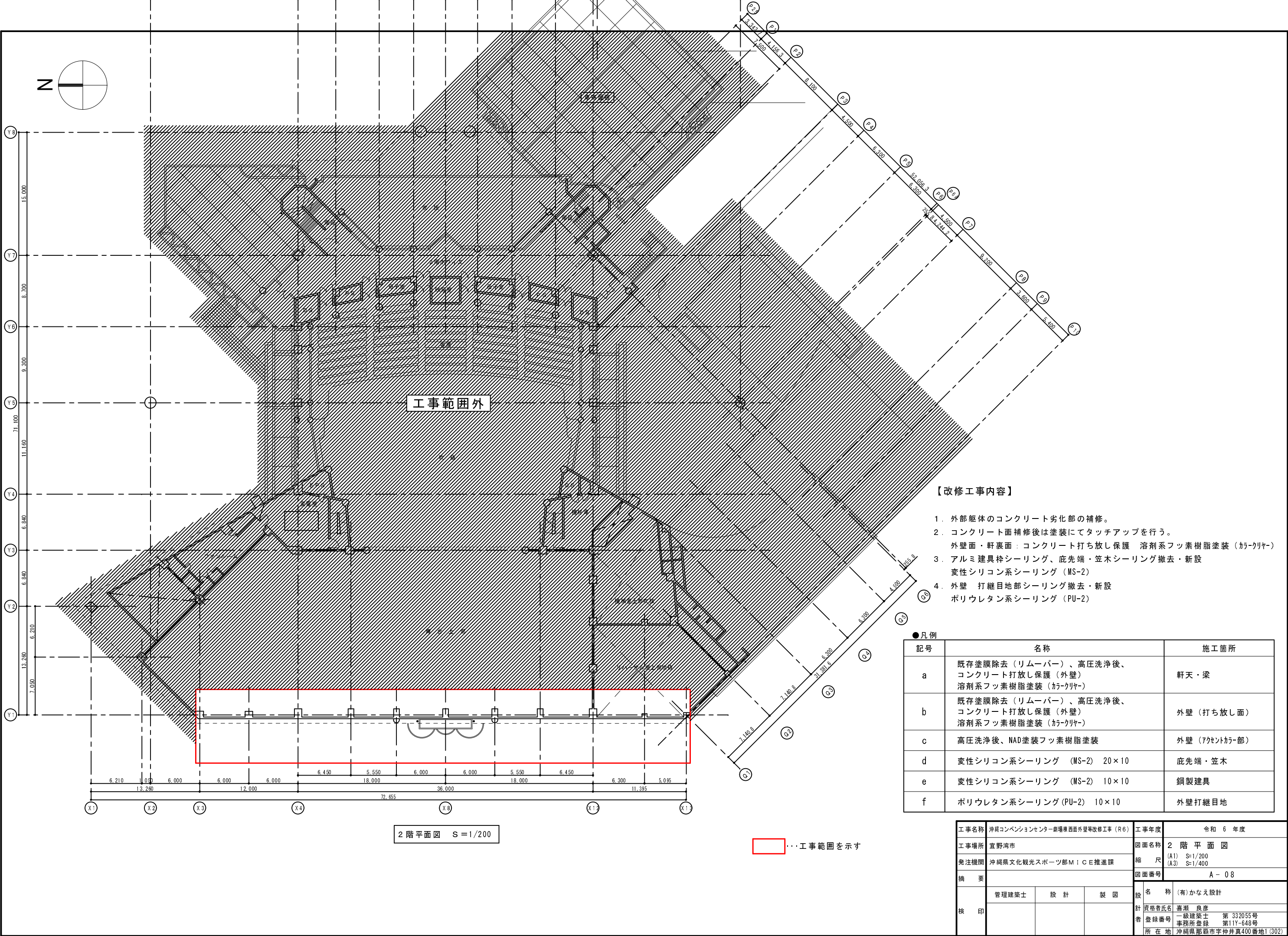
【改修工事内容】

- 1. 外部躯体のコンクリート劣化部の補修。
- 2. コンクリート面補修後は塗装にてタッチアップを行う。
外壁面・軒裏面：コンクリート打ち放し保護 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）
- 3. アルミ建具枠シーリング、庇先端・笠木シーリング撤去・新設
変性シリコン系シーリング（MS-2）
- 4. 外壁 打継目地部シーリング撤去・新設
ポリウレタン系シーリング（PU-2）

●凡例

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（アケントカー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング（PU-2） 10×10	外壁打継目地

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事（R6）	工事年度	令和 6 年度
工事場所	宜野湾市	図面名称	1 階 平 面 図
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部 M I C E 推進課	縮 尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400
摘 要		図面番号	A - 07
設 計	管理建築士	設 計	製 図
検 印		計 画 者	資格者氏名 喜瀬 良彦
		登録番号	一級建築士 第 332055 号 事務所登録 第 111Y-648 号
		所 在 地	沖縄県那覇市宇仲井真400番地1 (302)

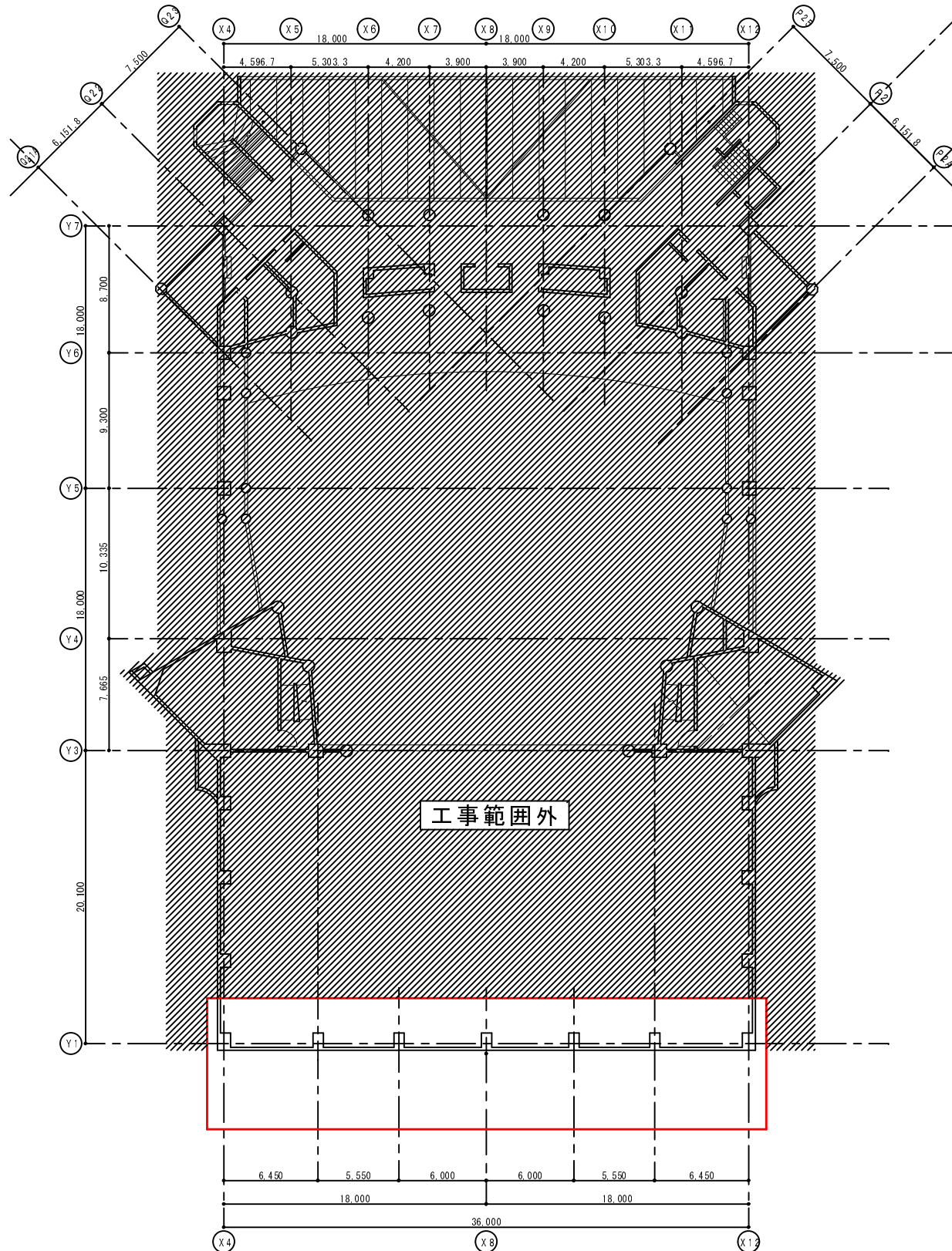
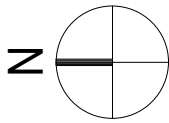


【改修工事内容】

- 外部躯体のコンクリート劣化部の補修。
- コンクリート面補修後は塗装にてタッチアップを行う。
外壁面・軒裏面：コンクリート打ち放し保護 溶剤系フッ素樹脂塗装（カーキヤー）
- アルミ建具枠シーリング、庇先端・笠木シーリング撤去・新設
変性シリコン系シーリング（MS-2）
- 外壁 打継目地部シーリング撤去・新設
ポリウレタン系シーリング（PU-2）

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カーキヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カーキヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（7ヶ所カー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング（PU-2） 10×10	外壁打継目地

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事（R6）	工事年度	令和 6 年度
工事場所	宜野湾市	図面名称	2 階 平 面 図
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部 M I C E 推進課	縮 尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400
摘 要		図面番号	A - 08
管 理 建 築 士	設 計	製 図	設 名 称 (有)かなえ設計
検 印			計 資 格 者 氏 名 喜瀬 良彦
			一 級 建 築 士 第 332055 号
			登 録 番 号 第 1111-648 号
			所 在 地 沖縄県那覇市宇仲井真400番地1 (302)



【改修工事内容】

- 外部躯体のコンクリート劣化部の補修。
- コンクリート面補修後は塗装にてタッチアップを行う。
外壁面・軒裏面：コンクリート打ち放し保護 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）
- アルミ建具枠シーリング、庇先端・笠木シーリング撤去・新設
変性シリコン系シーリング（MS-2）
- 外壁 打継目地部シーリング撤去・新設
ポリウレタン系シーリング（PU-2）

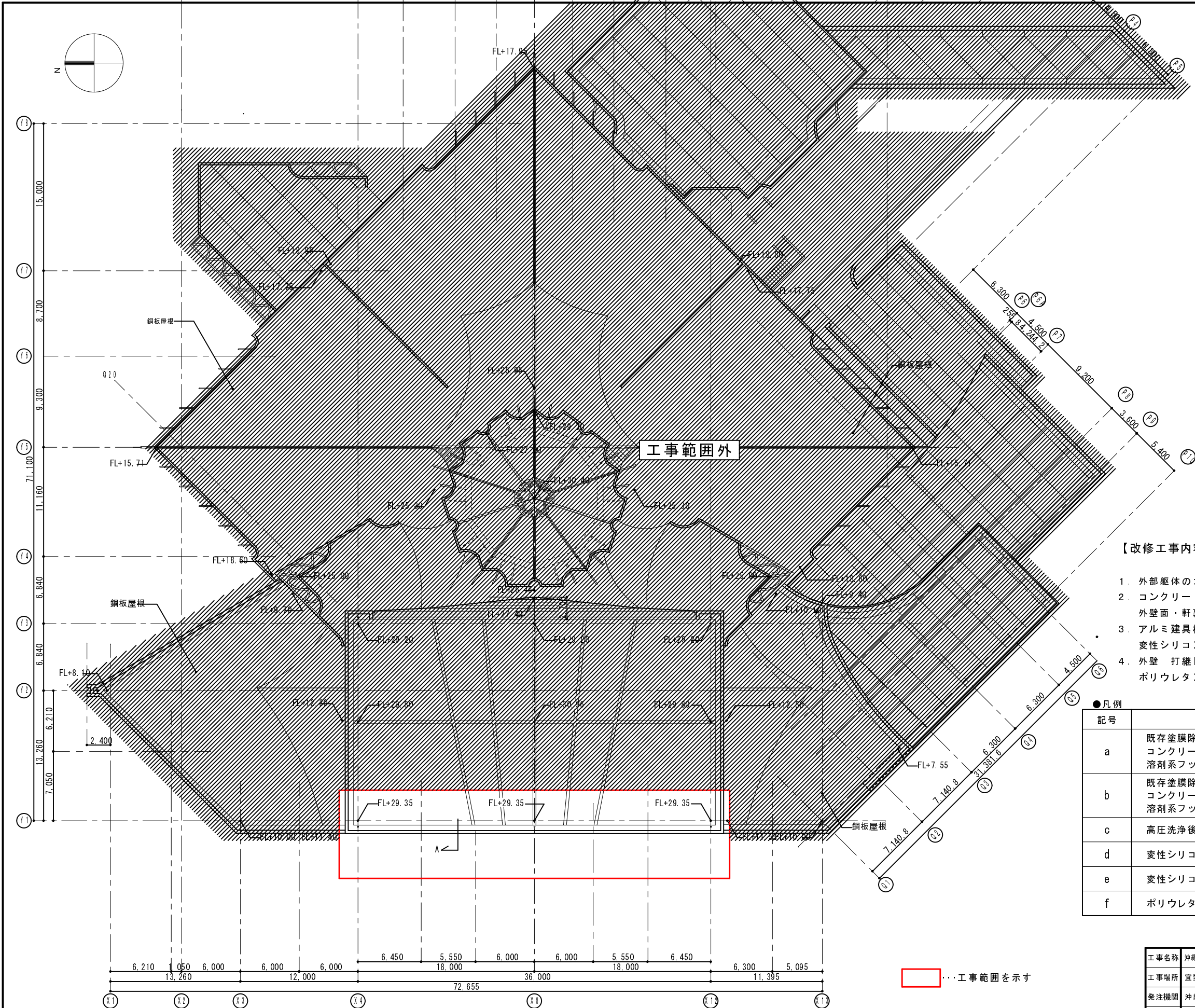
●凡例

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（7ヶ所カー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング（PU-2） 10×10	外壁打継目地

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事（R6）			工事年度	令和 6 年度	
工事場所	宜野湾市			図面名称	3 ～ 5 階平面図	
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部 M I C E 推進課			縮 尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400	
摘 要				図面番号	A - 09	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	(有)かなえ設計	
				計 資 格 者 氏 名	喜瀬 良彦	
				一 級 建 築 士 登 録 番 号	第 332055 号	
				所 在 地	沖縄県那覇市宇仲井真400番地1 (302)	

3 ～ 5 階平面図 1/200

…工事範囲を示す



【改修工事内容】

- 1. 外部躯体のコンクリート劣化部の補修。
- 2. コンクリート面補修後は塗装にてタッチアップを行う。
外壁面・軒裏面：コンクリート打ち放し保護 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）
- 3. アルミ建具枠シーリング、庇先端・笠木シーリング撤去・新設
変性シリコン系シーリング（MS-2）
- 4. 外壁 打継目地部シーリング撤去・新設
ポリウレタン系シーリング（PU-2）

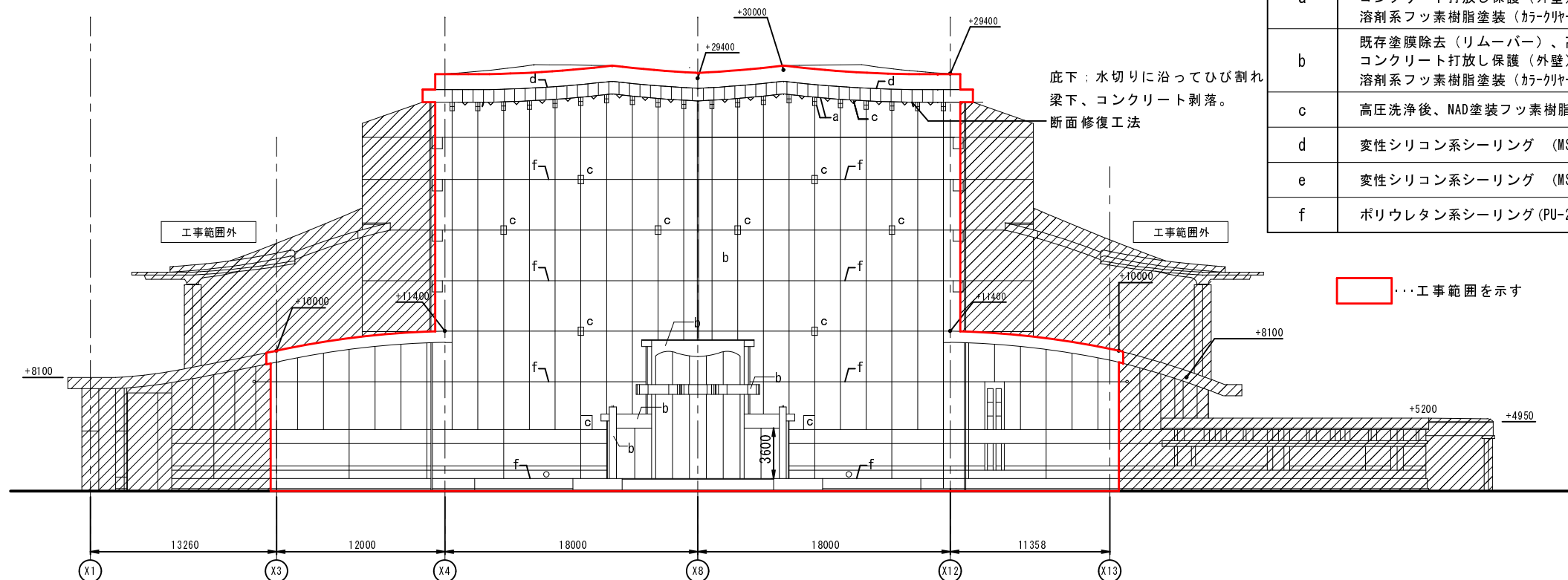
●凡例

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打ち放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークリヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（7ヶ所カー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング（PU-2） 10×10	外壁打継目地

R階平面図 S=1/200

…工事範囲を示す

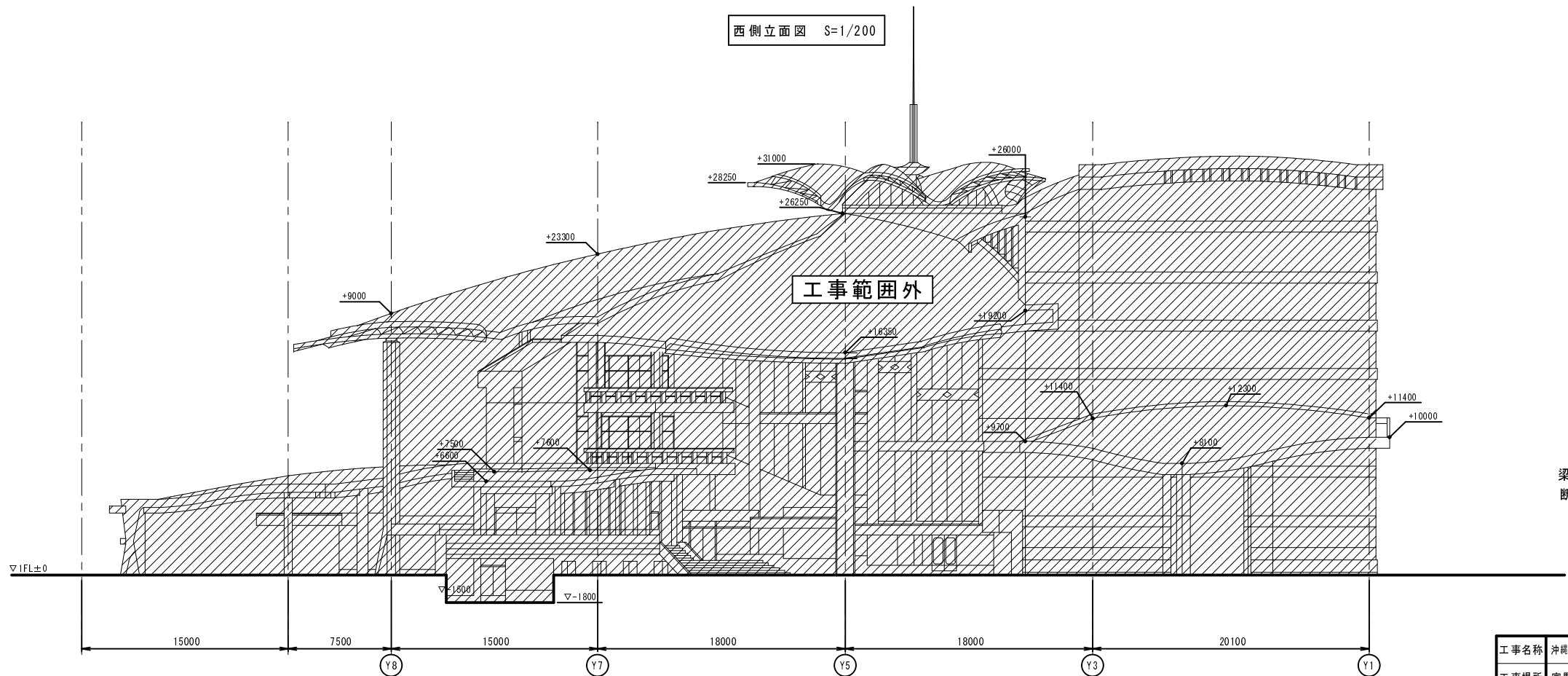
工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事（R6）	工事年度	令和 6 年度
工事場所	宜野湾市	図面名称	R階平面図
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課	縮 尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400
摘 要		図面番号	A - 10
設 計	管理建築士	製 図	
検 印		計 画 者	名 称 (有)かなえ設計
		資格者氏名	喜瀬 良彦
		登録番号	一級建築士 第 332055号 事務所登録 第1111-648号
		所 在 地	沖縄県那覇市宇仲井真400番地1 (302)



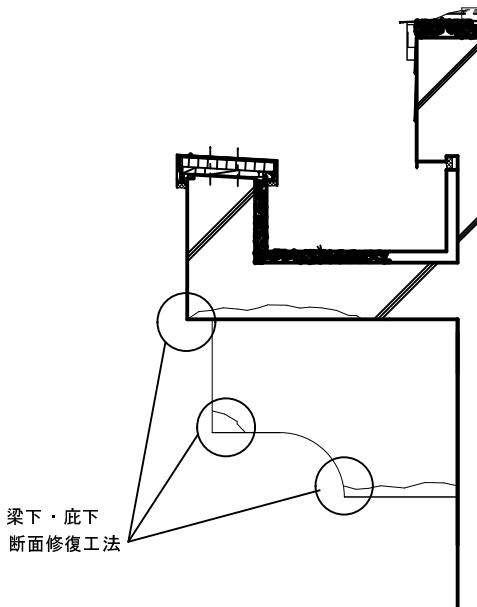
●凡例		
記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークラヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カークラヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（7ヶ所カラー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング（PU-2） 10×10	外壁打継目地

…工事範囲を示す

西側立面図 S=1/200

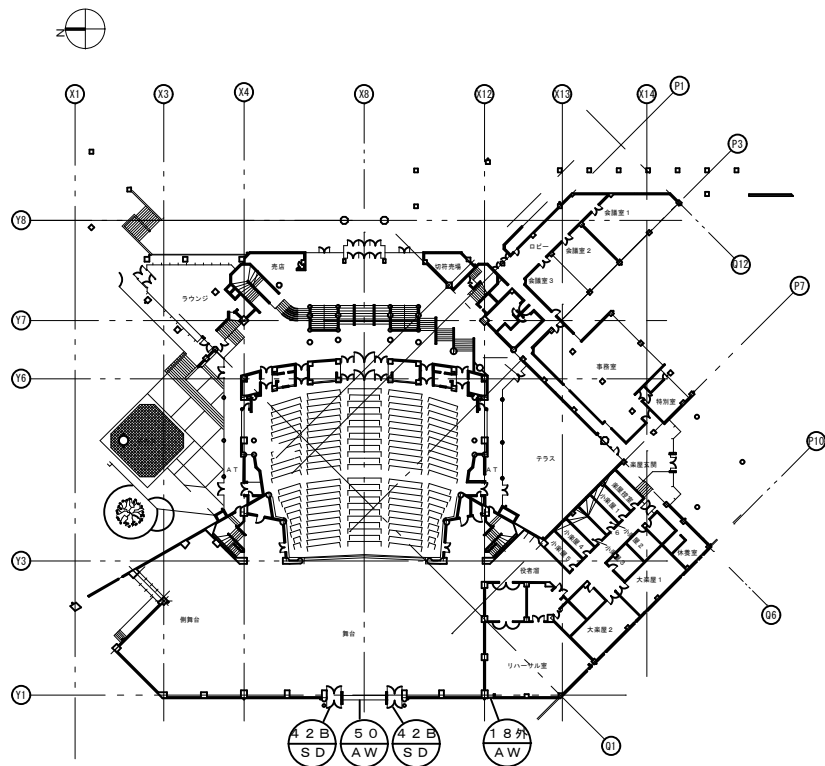


北側立面図 S=1/200



庇先端詳細図 S=1/10

工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事（R6）			工事年度	令和 6 年度	
工事場所	宜野湾市			図面名称	西側、北側立面図、庇先端詳細図	
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課			縮 尺	(A1) S=1/200、1/10 (A3) S=1/400、1/20	
摘 要				図面番号	A - 11	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 名 称	(有)かなえ設計	
				計 資格者氏名	喜瀬 良彦	
				者 登録番号	第一級建築士 第 332055号 事務所登録 第11Y-648号	
				所 在 地	沖縄県那覇市宇仲井真400番地1 (302)	



1 階建具配置図 S=1/400

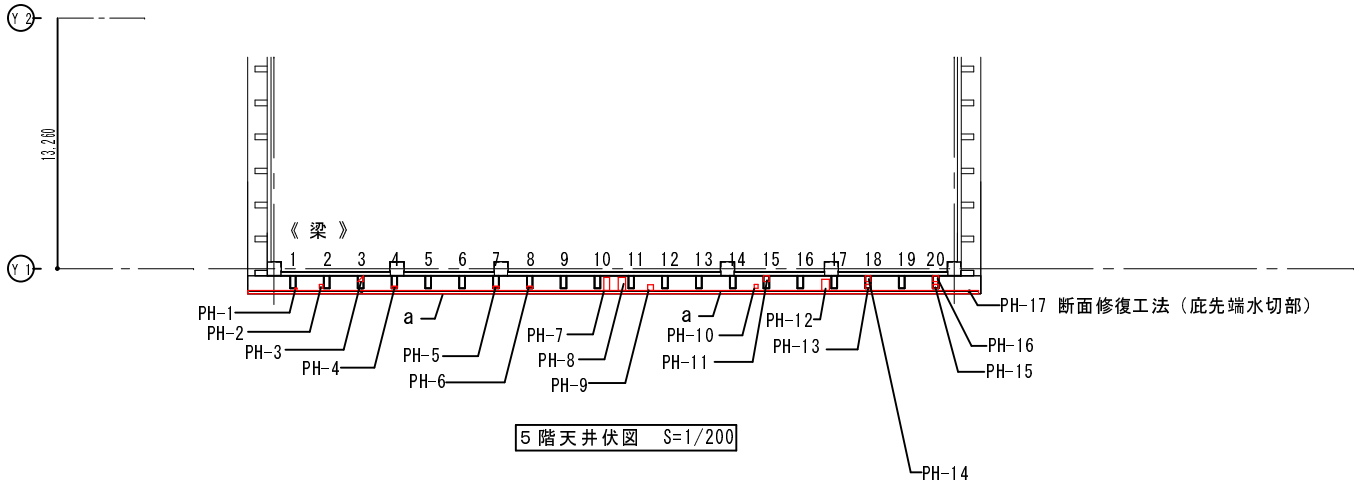
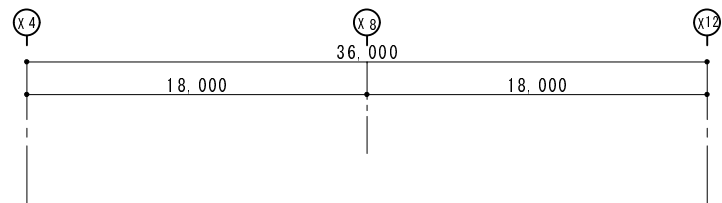
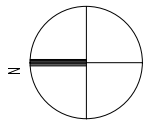
符号・箇所	<div>50 AW</div> 1 階 1 ヶ所	<div>42B SD</div> 1 階 2 ヶ所
案 図	<div></div> アルミ建具周囲シーリング 撤去・新設	<div></div> アルミ建具周囲シーリング 撤去・新設
符号・箇所	<div>18外 AW</div> 1 階 1 ヶ所	
案 図	<div></div> アルミ建具周囲シーリング 撤去・新設	

建具表 S=1/50

●凡例

記号	名称	施工箇所
e	変性シリコン系シーリング (MS-2) 10×10	鋼製建具

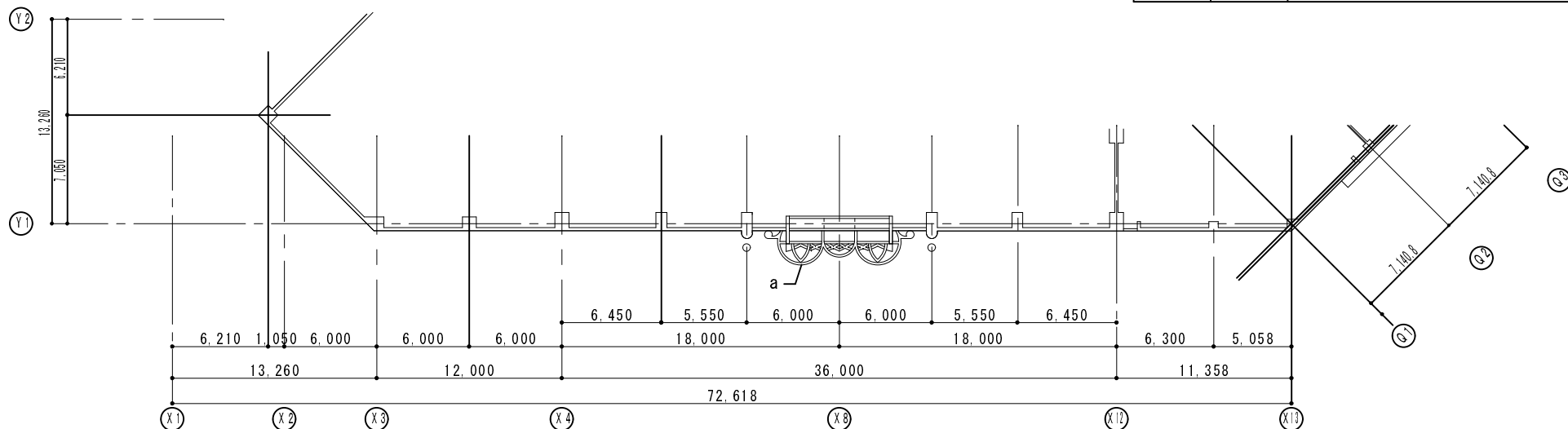
工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事 (R6)	工事年度	令和 6 年度
工事場所	宜野湾市	図面名称	建具配置図・建具表
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部 MICE 推進課	縮 尺	(A1) S=1/400、1/50 (A3) S=1/800、1/100
摘 要		図面番号	A-13
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	(有)かなえ設計
		計 画 者 氏 名	喜瀬 良彦
		登録番号	一級建築士 第 332055 号 事務所登録 第 11Y-648 号
		所 在 地	沖縄県那覇市宇佐井真 400番地1 (302)



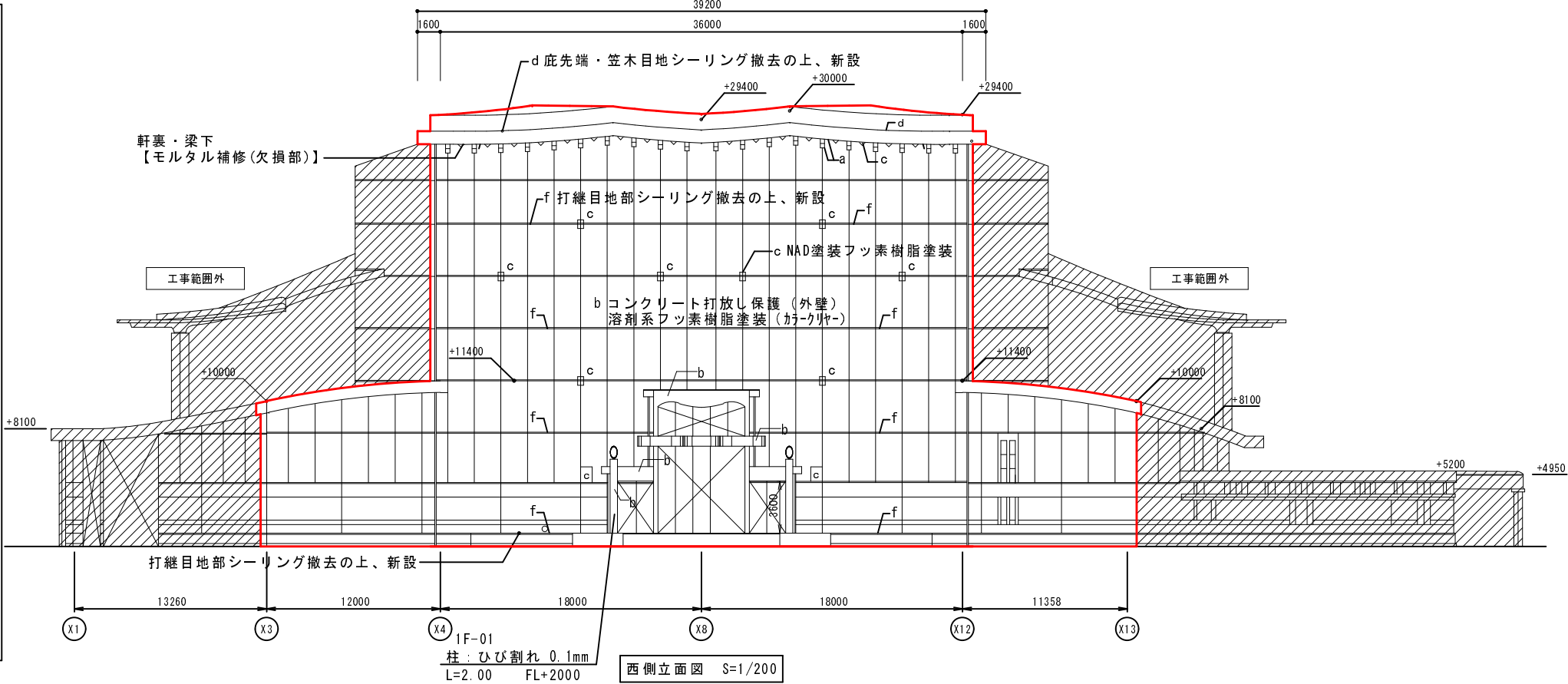
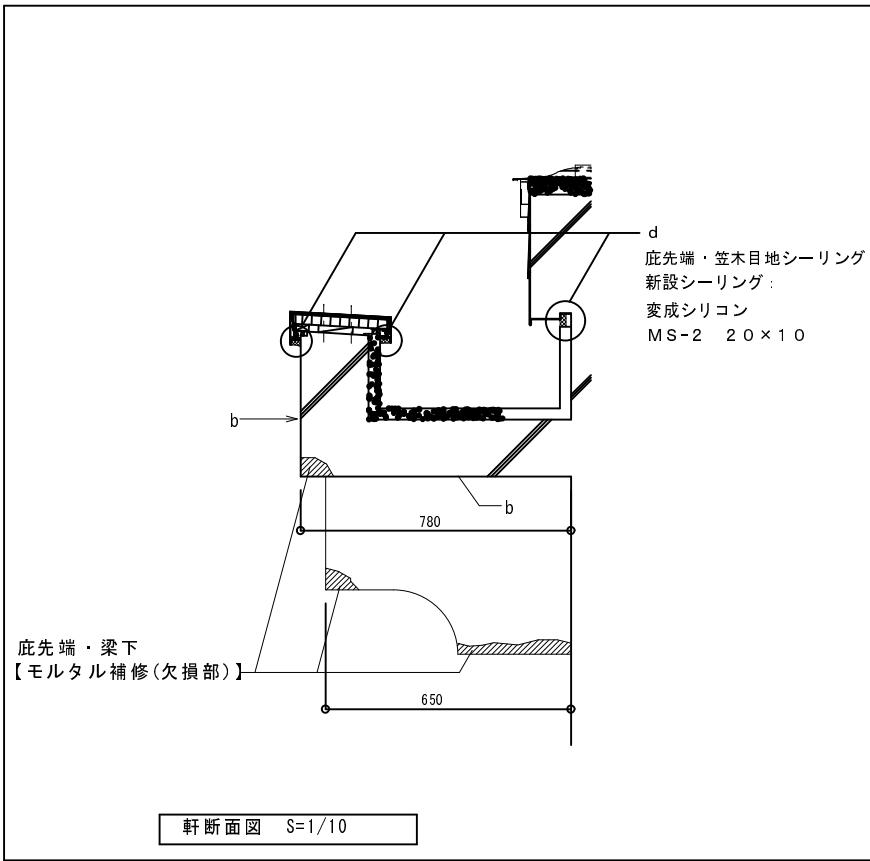
●凡例

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カーキヤー）	軒天・梁
b	既存塗膜除去（リムーバー）、高圧洗浄後、 コンクリート打放し保護（外壁） 溶剤系フッ素樹脂塗装（カーキヤー）	外壁（打ち放し面）
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁（7ヶ所カー部）
d	変性シリコン系シーリング（MS-2） 20×10	底先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング（MS-2） 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング（PU-2） 10×10	外壁打継目地

5階軒裏 コンクリート劣化改修箇所						
番号	位置	劣 化 状 況				改 修 材 料
			W L	厚70mm (㎡)	厚70mm (㎡)	
PH- 1	軒裏	コンクリート剥離	0.10 × 0.10	0.010	0.0007	・重硝酸リチウム含有 ポリマーセメントモルタル
PH- 2	軒裏	コンクリート剥離	0.20 × 0.20	0.040	0.0028	
PH- 3	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.30	0.090	0.0063	〃
PH- 4	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.10	0.030	0.0021	〃
PH- 5	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.10	0.030	0.0021	〃
PH- 6	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.10	0.030	0.0021	〃
PH- 7	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.70	0.210	0.0147	〃
PH- 8	軒裏	コンクリート剥離	0.40 × 0.70	0.280	0.0196	〃
PH- 9	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.30	0.090	0.0063	〃
PH-10	軒裏	コンクリート剥離	0.20 × 0.20	0.040	0.0028	〃
PH-11	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.30	0.090	0.0063	〃
PH-12	軒裏	コンクリート剥離	0.40 × 0.60	0.240	0.0168	〃
PH-13	梁下	コンクリート剥離	0.30 × 0.30	0.090	0.0060	〃
PH-14	梁下	コンクリート剥離	0.30 × 0.30	0.090	0.0060	〃
PH-15	軒裏	コンクリート剥離	0.30 × 0.20	0.060	0.0042	〃
PH-16	梁下	コンクリート剥離	0.30 × 0.30	0.090	0.0060	〃
PH-17	底先端	コンクリート剥落対策	38.80 × 0.07	2.716	0.1901	〃
			合 計	4.226 ㎡	0.295 ㎡	

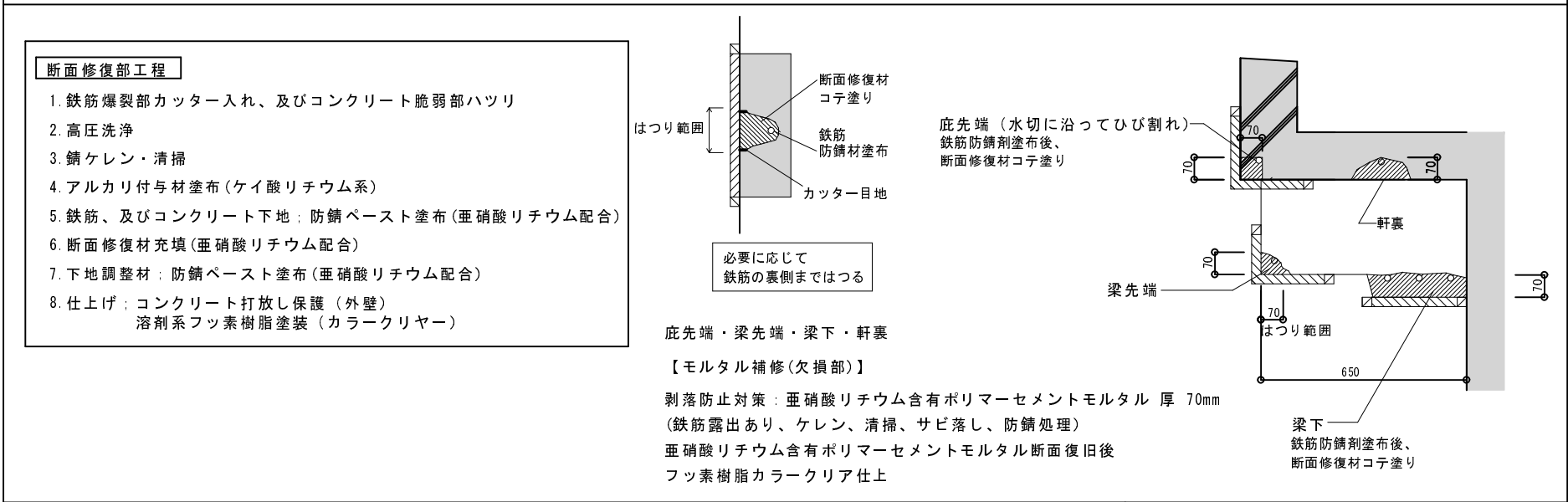


工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事（R6）	工事年度	令和 6 年度
工事場所	宜野湾市	図面名称	外部天井伏図
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部 M I C E 推進課	縮 尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400
摘 要		図面番号	A - 14
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 名 称	(有)かなえ設計
		計 資格者氏名	喜瀬 良彦
		者 登録番号	一級建築士 第 332055 号 事務所登録 第 11Y-648 号
		所 在 地	沖縄県那覇市字仲并真 400 番地 1 (302)



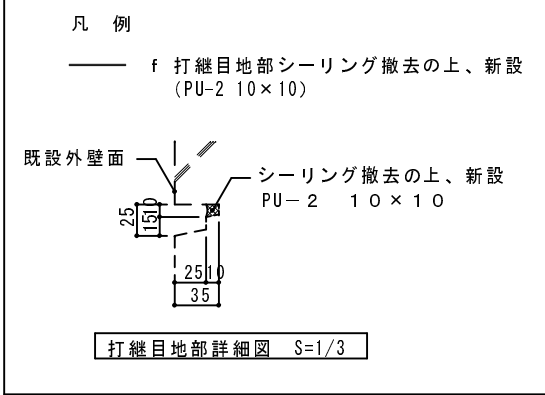
凡 例

剥落防止対策: 亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル 厚 70mm



●凡例

記号	名称	施工箇所
a	既存塗膜除去(リムーバー)、高圧洗浄後、コンクリート打放し保護(外壁) 溶剤系フッ素樹脂塗装(カラークリアー)	軒天・梁
b	既存塗膜除去(リムーバー)、高圧洗浄後、コンクリート打放し保護(外壁) 溶剤系フッ素樹脂塗装(カラークリアー)	外壁(打ち放し面)
c	高圧洗浄後、NAD塗装フッ素樹脂塗装	外壁(7ヶ所カラー部)
d	変性シリコン系シーリング (MS-2) 20×10	庇先端・笠木
e	変性シリコン系シーリング (MS-2) 10×10	鋼製建具
f	ポリウレタン系シーリング(PU-2) 10×10	外壁打継目地



工事名称	沖縄コンベンションセンター劇場様西面外壁等改修工事(R6)	工事年度	令和 6 年度
工事場所	宜野湾市	図面名称	補修・改修工法詳細図
発注機関	沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課	縮 尺	(A1) S=1/200 (A3) S=1/400
摘 要		図面番号	A - 15
検 印	管理建築士 設 計 製 図	設 名 称	(有)かなえ設計
		計 資 格 者 氏 名	喜瀬 良彦
		者 登 録 番 号	一級建築士 第 332055号 事務所登録 第11Y-648号
		所 在 地	沖縄県那覇市字仲井真400番地1 (302)